

北海道土人通語

082589-000-7

特53-597

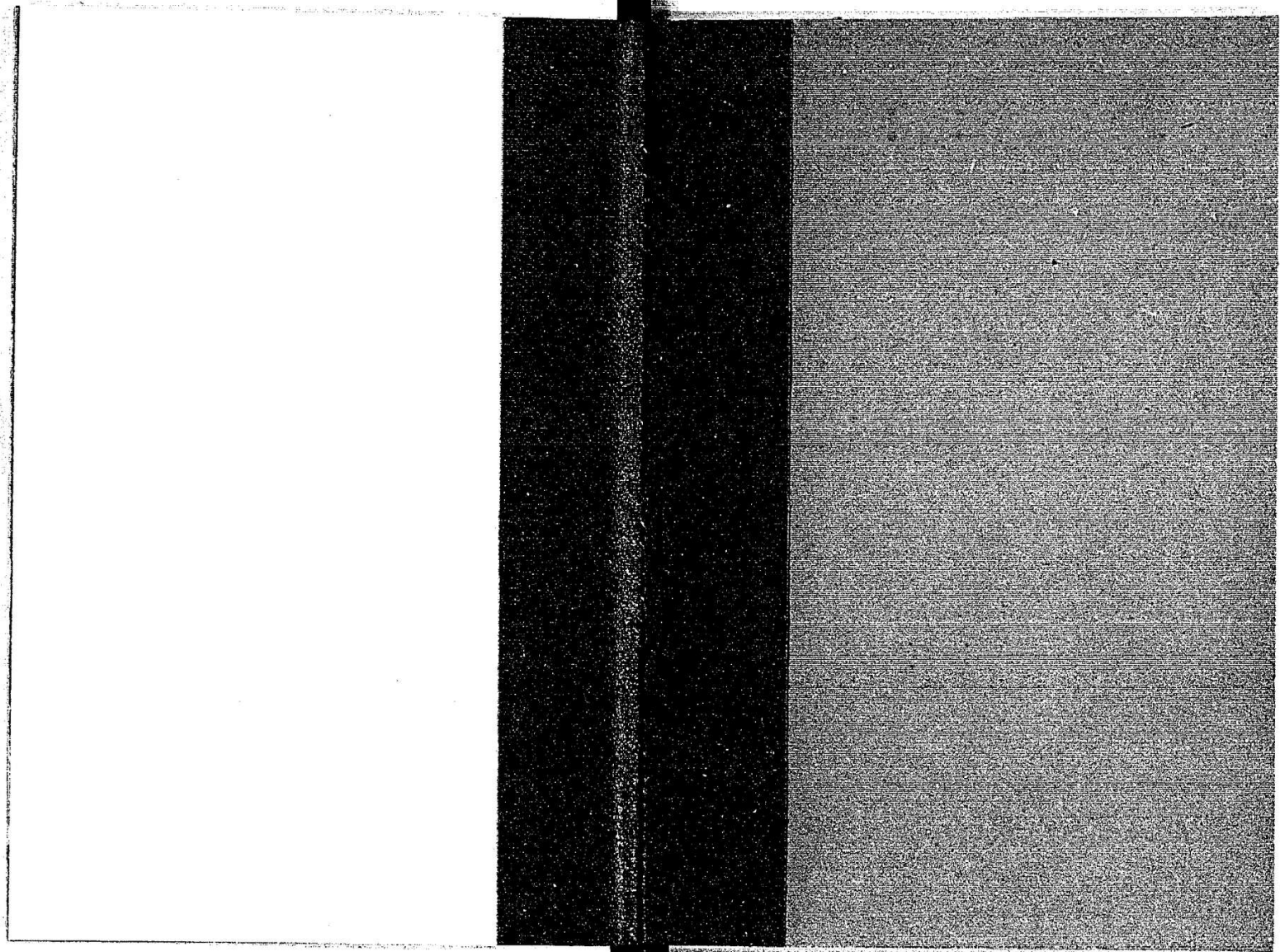
北海道土人通語

渡辺 斬鬼/編

M23

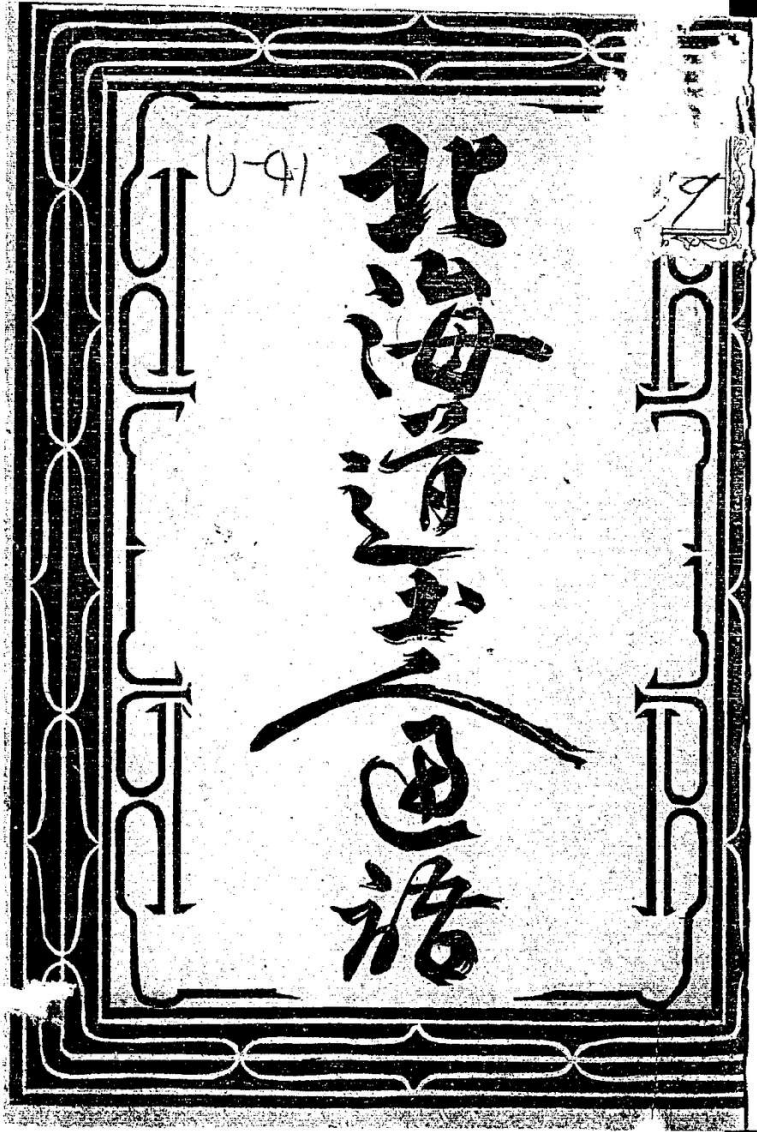
DAG-0016





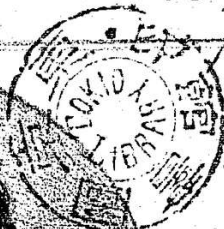
U-41

北海道
通語



特53
597

No 6689/23



東京大学
文学部
図書印

尾花澤



緒言

北海道ノ土人ハ、學門ナク、文字ナク、智識ナシ、故ニ其言語ヤ

野郎、僅カニ一局部ノ外ニ通セズト雖モ、其間又自ラ三種ノ別

アリカヲフト、曰ク樺太語、曰ク沙流語サル、曰ク十勝語トカチ是レナリ、抑

モ樺太語シマハ千嶋交換ノ際、札幌郡對雁村ニ移住シタル土人ノ

間ニ存スルモノナリト雖モ、今ヤ内地人ニ感化セラレテ其趣

ヲ改ムル少カラズ、且沙流郡平取村ヒラトリハ往時酋長ノ在ル所ニシ

テ、土人界ノ龍動ロンドンタリ、故ニ自然本地ニ往來シテ、之レガ言語

動作ヲ究メ、又之ヲ世ニ公ニセルモノアルノミナラズ、是等土

人ハ常ニ内地人ニ接スル多キヲ以テ、既子邦語ニ通セザルナ

キガ如シト雖凡、獨リ十勝國ハ沃野綿亘多望ノ地タルニモ拘
ラズ、之ヲ研究シテ廣ク傳フルノ書アルナク、且本地ノ土人ハ
内地人ニ接スル極メテ少ナキヲ以テ、未ダ能ク邦語ヲ解セザ
ルモノアルヲ免レズ、故ニ今之ヲ天地、人事、身体、飲食、物名、
動植物、數、雜事ノ八門ニ分テ其梗概ヲ示スヘシト雖凡、其間
自ラ土人界一般ニ通スルノ語亦少カラサル可シ、ツハ之ヲ敢
テセザレハ、實際上不都合ヲ醸スルアルヲ以テナリ、觀者乞フ
之ヲ亮セヨ

明治庚寅、寒風颯々肌ヲ裂キ、將ニ衣ヲ重テントスルノ交、
遠ク北天ヲ望テ往時ヲ回顧シツ、東京客舎ニ於テ

北海道土人通語

渡邊斬鬼編纂

近頃ハ世間何となく、北海道〜と心を北海道に寄するもの、
日に多きを加ふるが如く、北海道も亦内地人を待つ事漸次周
到の勢あり、而して石狩、北見、十勝は諸國は、北海道中の曠原
沃野にして、開墾に、牧畜に、養蠶に何れも能く適合せる事は、
北海道通の能く知る所たゞ、今此原野に於て、開墾し、牧畜し、
養蠶せんと欲する者あるも所謂「アイノ」(土人)の通語を解す
る事能はざれば、大に困難し又差支を生ずるとをあらん、從來
此の諸國の土人は語音相似て、日高國沙流郡 全郡平取村は土
人の都府と稱し

義經の木像を祠等と其趣を異にせり、世間傳ふる所多くは沙
 流郡乃通語にして、未だ此れ諸國の語之を總稱して十勝語と
 いふも通ずる者多からず、予や嘗て偶々十勝國に遊び土人と
 交ること久し、故に今一寸覺へて置かざれば不都合じやと思
 ふ者乃みを撰で、心を北海道に寄する人々乃手引草の一助に
 供すと云爾

因云 土人との往昔所謂蝦夷人をいふ、今尙土人と唱へて、
 移住民と區別するもこれ、人情、風俗、及び言語の異なるわ
 るを以てなり、今其近況を概言ば、逐年開進に趣くの狀あり
 と雖ども、性質頑愚、常に野獸を捕へ魚介を漁するを好み、
 粗衣惡食是れ足れりとし、口邊に文し、耳端に環し、蓬髮、
 徒跣の風俗は今尙存して改めずといふ

天地

- | | | | |
|--|---|---------------------------|---------------------------|
| リツダ <small>(天)</small> 又 <small>又</small> 高 <small>高</small> | ラム <small>(地)</small> 又 <small>又</small> 低 <small>低</small> | シクシカモイ <small>(日)</small> | イモ |
| は神乃義にして尊敬せる | ツツカモイ <small>(月)</small> | ノチウ <small>(星)</small> | |
| ケモロス <small>(山)</small> | ベツ <small>(川)</small> | アドヒ <small>(海)</small> | ノブカ <small>(原野)</small> |
| ノブリ <small>(峯)</small> | シヨマ <small>(石)</small> | コユツケ <small>(荒浪)</small> | ルウ <small>(道)</small> |
| パエー <small>(登)</small> | サン <small>(降)</small> | シンゾイ <small>(穴)</small> | シリボツケ <small>(暖氣)</small> |
| メアン <small>(寒氣)</small> | ルヤンベ <small>(雨)</small> | レラ <small>(風)</small> | ユプケ <small>(吹)</small> |

ルイ(降) シリマケエレ(明) シリクン子(暗) タンド(今日)
 ニシヤツタ(明日) タノコラ(今晚) タノオノマン(全上)
 オクラン(昨晚) ノーマン(昨日) ホシカヌーマン(一昨日)
 オヤシミ(明後日) クン子ウノ(朝) トウグシ(晝)
 アンノスキ(夜半) サツ(乾燥) テー子(濕) コツチャケ(前)
 オシマケ(後) クシヌ(向側) シュニ(青) デダリ(白)
 クン子(黒) フレ(赤) コタン(村落)

因云 北海道の地名は、概ね土人の語を直譯せる者にして、
 土人は其大小、乾濕及川狀等總て地形の如何に依て、之を稱
 呼せる者少係る、例へば札幌とは乾燥たる廣地、幌別とは大

川地、手稻とは濕地といふ意味にして、夫々據所ある者と
 知るべし

人事

クル(人) アイノ(男) メノコ(女) チャ(父)
 老爺の物稱 バッコ(母) 又老婆の物稱 イホク(夫)
 クマチ(妻) ヨボ(兄) アキ(弟) セカチ(男兒) オベリ
 キ(女兒) チヨウカイ(我) ヤコ(汝) ニスツパ(君) シヤモ
 (内地人) アカヒト(外國人) オテナ(酋長) 子コ(名)
 ラムワン(優) イゴツカ(愚) トラン子(怠惰) サウレ(全上)

イカウン(勝) イラボツカレ(負) カトハウキ(多言) ウゴ
 イキ(喧嘩) イタツキ(言語) ウエチウサラ(全上) エー(左様)
 シュンゲ(偽) モライケ(働) クジヤルサク(謝罪) ニツチヤ
 テキ(愉快) 子ウシヤ(全上) アシカイ(上手) ラカイシヤ
 ム(下手) クイミナルシユイ(可笑) ラムトユエ(驚愕)
 ルスカ(憤怒) クイラヌムクリ(可憐) アヤツポ(恐怖)
 ウウア(不知) エラミシカリ(全上) クコチャン(謝斷)
 シヨモ(不然) エンコレイ(頂戴) ヤイライケレ(謝禮)
 ヤンカラフテー(挨拶言詞) ノキアレ(出産) ライキ(死去)
 バラ(泣) エチエラマスアン(戀慕) サラバー(左様)

モノア(坐居) アウカン(北行) シチベ(遊戯) オマン(行
 く) ヤイグメスノ(淋しひ) ホバニ(起) モコロ(寢) オ
 トママン(抱寝) トマ、ホツケ(全上) アラマス(好) コン
 ルスイ(全上) クイベルスイ(空腹) イカシユイ(手傳) ウ
 トシマツクアン(競争) ウタセ(交換) エ子ルサ(借) エゼ
 ルスアム(貸) ウコイヨツキ(買) イ子チャコク(教授) エラ
 ムアンナ(不覺哉) ラムアンナ(全上) クイラムアンマ
 (覺へた) キマツテキ(仲裁) コル(持つ) エタケエツキ
 (可來) オシビ(歸る) エヌオシビ(可歸) イギリスヤニ
 (承知) チン(誰) ウラエ(洗) ソケ(負ふ) ウック(拾)

オツツエ(捨) シニ(休息) エレウシカ(宿泊) ヌカラ(見)
 ヌー(聞) ケムく(舐) フラ(香) ラリウ(漕) ウエン
 (悪) シツ(大便) オツマ(全上) オクイマ(小便)

身 体

ニドハケ(身体) ナヌ(顔) バツケ(頭) オトツプ(髪) キサ
 ラ(耳) シギ(目) チャロ(口) エト(鼻) テケ(手) ツキ
 リ(足) レツケ(髻) アム(爪) パルンベ(舌) ホニ(腹)
 ナイ(淫莖) ボツキ(淫門) アンギベツ(指) ルス(皮) ヤ
 エウエン(跛) シエ、(病氣) シンキ(疲勞) ヤマイゲ(疥癬)
 若くは (痒) インキ、(搔く) アルカ(痛) アヨ(全上)

飲 食

エベ(食) イクツ(飲む) アマ、(食物の通稱) ワツカ(水)
 ヤムワツカ(冷水蓋) ヤムは山の變語にして ウセ(熱湯)
 セ、ワツカ(全上) シュゲ(煎) セ、カ(可熱) トンドラ(氷)
 シユム(油) オハウ(汗) ルリ(全上) チヤン(甘味) チヤラ
 カラ(辛) シウ(苦味) ル、コル(酸味) エルスイ(好食)
 ヨウスケ(酪酐)

物名

十

チセ(家) チップ(舟) アベ(火) ス子(燈火) ラッチャク(全
 上) イタ(膳) イタンキ(椀) パシユイ(箸) チエンヌイ
 (枕) アボスタ(戸) ツミップ(衣裳) モッウル(肌着) アベ
 パシユイ(火箸) イヌンベ(爐) セレンボ(煙管) アベニー
 (薪) チボ(櫂) ツリ(櫂棒) キナ(土人敷物) カンビ(書
 物、帳面等の惣稱蓋し紙の變語からん) チョンバ(舢舨)

因云 從來北海道に産出するもれば、各其名稱を存すと雖
 ども、内地より輸入せる物等は、多く原名を用ゆ、然るに其
 中間を原名を變訛して、一種異様の名稱を用ふる者あり、例
 へばチ、ッポ(短袖)馬をウンマ烟草をタンバコといふの類、
 且甚しきは内地人にして土人語を用お、土人却て内地語を
 唱へ、稍や主客の度を失するの傾きあるに至る、譬へば永年
 十勝國等に住する内地人は、煙管をセレンボといひ、土人は
 却てキセルといふが如きは是れなり

動植物

チカップ(鳥の通稱) ポンチカップ(小鳥) 凡て何鳥何鳥と各自
 概ね之を惣 ウオロン、チカップ(鴨) 潜伏の意) バスクル(鳥
 稱せるなり
 チエップ(魚の通稱) シベ(鮭) イザニユ(鱒) ヘロギ(鯨)

十一

十二

トユクシ(あめます) 鮎鱒 (魚) キキヤブ(やまめ) シユブ(うさ) 鰾 (魚) チライ
(いしを) 糸魚 バケボロ(かじか) 石魚 アバヤ(か) 蟹 ユッコ(しか) 鹿 キモ
ウカモイ(くま) 熊 チロノッ(きつね) 狐 セタ(いぬ) 犬 エルム(ねつみ) 鼠
カセコル(しまねづみ) クル(ねづみ) 縞鼠 ウルキ(しらみ) 虱 ダイキ(のみ) 蚤 ヤブツ(あぶ) ヲケ
(あぶ) 虻 エトタ(か) ニ(あぶ) 蚊 イビロ(あぶ) レ(あぶ) 蝸 キ、リ(あぶ) 全上 ノック
(たまご) 卵 ムシ(くさ) 草 トップ(さき) 笹 ノヤ(よもぎ) 蓬 コロコ(たけ) ニ(たけ) 萱 ベ
カンベ(ひし) 菱 ハツ(はと) ヲ(はと) 葡萄 シタ(ひん) コロコ(ひん) ニ(ひん) 午房 シクト(ひん) ヲ
(ねぎ) 葱 マウ(はまなし) 濱梨 シユ(や) く(や) 柳 ニ(くろ) ミ(くろ) 胡桃 テシ(ま) ニ
(くわ) 桑 カー(あ) ボイ(あ) 野麻 エ(あ) イ(あ) ツ(あ) 蓍用草

十三

シチップ(一) トップ(二) レップ(三) イチップ(四) アシキ
(五) イワン(六) ベ(六) アルワン(七) トベサン(八) ベ(八) シチ
ベサン(九) ベ(九) ワン(十) ベ(十) シチ(百) イ(百) ヲ(百) キ(千) 千
因云 十一、十二といふとさき、(ワン、ベ、イカシマ、シチッ
プ) (ワン、ベ、イカマシ、トップ) 百十は、(シチ、イ(百) ヲ(百) キ、イカ
シマ、ワン、ベ) と唱ふるが如シ蓋し(イカシマ)とは餘剩(あまる) の
義よて十ふ餘る何程、百に餘る何程といふに異ならず又一
升二升とは

シチップ、チヨンバ(一升) トップ、チヨンバ(二升)、ワン、ベ、

十三

チヨンバ(一斗) シチイッキ、チヨンバ(一石)と唱ふるなり

雑事

カモイ(神) チャツケ(可爲) イテツケ(勿爲) アシナルキ
 (初て来た) ナー(何でありますと問返す言詞) 子ツクセ
 (如何) チコノ、アタヘアン(何程價なるや) 土人の、物品の
 交換れみにて、
 金錢を以て、賣買せしとあらざりしも、近來内地人と交際する
 に際り、代價を要すること、はなりぬ、故に價乃如きの從來通
 稱なきもの、チプヘ(何事じや) トアベ(彼物) タンベ(是物)
 と知るべし
 エンユタ(早く) コルマン(持行) コアルキ(可持參)

ホックワエッキ(可買來) テチヤンケンエッキ(此處來れ)
 タン、コタン、チコノレーアン(此地は何と云ふ名ぞや) 子ダ、
 オマン(何地へ行くや) エンユタエツ(早く來れ) イチャツキ
 レイ(汚物) アッカ(全上) ピリカ(美麗又の珍奇) ムニン
 (腐敗) ポロノ(澤山又の巨大又は廣い) ポンノ(少許又の
 小) ルエ(太) アチ(細) シカナツキ(圓形) タンチ(長)
 マク子(短) アンチ(尖) コムコムセ(縮) メル、クス(三角)
 ル、クス(四角) ビカン(駿速) エドック(出る) サンゲー
 (出せ) オマレー(入る) イシヤマ(無、不居、紛失) チンコ
 ラス (鳴くよふじや) チイ(成熱) ソウカ(敷く) フツプ
 (勝脹) チブカ、イナラカ、イシヤマ、ナー(其外別ニ異事なきや)

此語多く警察官吏の土人 マカ(開) アシ(閉) エヤイ、チン
 を糾問するに用ゆるなり
 コロワ、エンコレー(周旋依頼) コワシ(破損) チャランケ
 (談判) イカシマ(餘剩) カラ(製造) オテシバ(働かず)
 タノコラ、エレウシカ、エンコレー(今夜宿泊依頼)

附言

土人の言辭は至て少なし、類似乃者概紛一語にて足れり、例へば大も、多も、廣も、厚も(ポロ)小も、少も、薄も、幼も、微も(ボン)美も、善も、珍も(ピリカ)といふが如し、故に先づ右に記載せる數事を丸呑にして置けば、縱令如何なる山奥へ行くも、決其上尙いろくの言を覺ばんにぞ、頗る容易く出來得るなり、加之土人の言辭は、和語や、漢語や、洋語の如く、綴方に別に法則あるに依らず、どれでも本文此語を一つく合はせるときは、それが一つの言辭とはなる譬へを

びりかめのこと、となせれもころ

ぬしやツた、ばすくる、ちまこらす

といふが如く、眞に早や無雜作至極の限りよこそあるなり

十八

定價金三

明治廿三年十月三十一日印刷

明治廿三年十一月一日出版

編輯者 長野縣士族 渡邊

勝用

東京市本郷區
金助町三番地

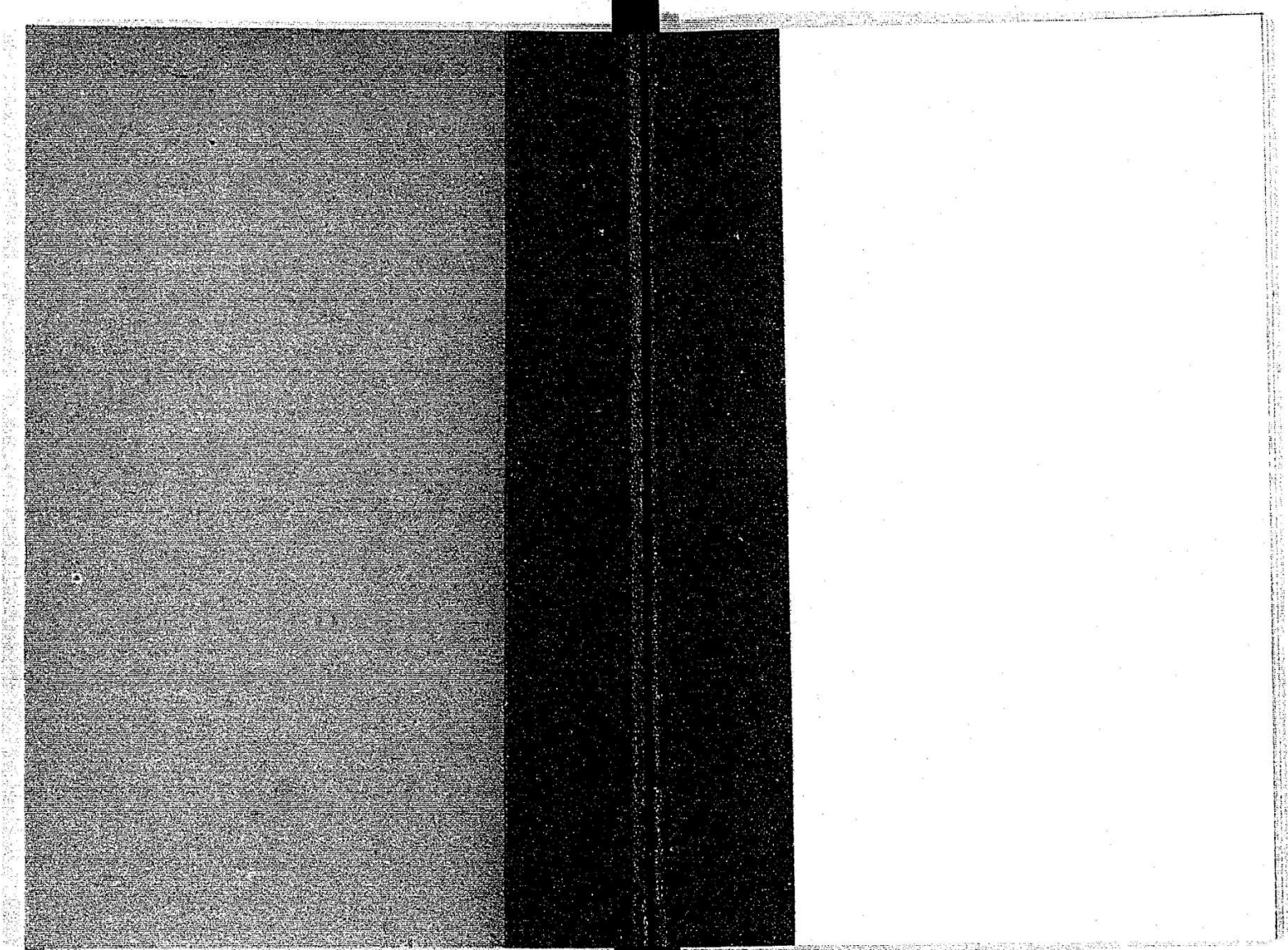
版權名錄

印刷者 山上小八郎

神田末廣町十
番地

發行所 發芽堂

東京市本郷區
金助町三番地



3
7